



創 立 1993年12月1日  
 事務局 〒286-0106 成田市取香 500  
 ホテル日航成田  
 TEL/FAX 0476-24-5044  
 例会場 ホテル日航成田内  
 TEL 0476-32-1144

# 成田コスモポリタンロータリークラブ週報



2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ  
 ロータリーは機会の扉を開く

【 会長 ホルガー・クナーク 】

成田コスモポリタンRCターゲット  
 「機会をとらえ、Take an action!」

〔会長：藤崎 政弘〕

## 第 1309 回 例 会

令和3年3月24日（水）

### 《新型コロナのこと、その他》

- ◇ 点 鐘 藤崎 政弘 会長
- ◇ 国 歌 斉 唱 君 が 代
- ◇ ロータリーソング 奉 仕 の 理 想
- ◇ 四つのテストの歌

#### ◇ お客様紹介

成田ロータリークラブ 菊地 貴 様・矢野 理恵 様



#### ◇ ニコニコ BOX

・林 康博 会員

《いよいよ 26 日よりプロ野球の開幕です。田中が楽天に戻り、ロッテも佐々木や若手が台頭してきて楽しみです。当クラブのみなさんには引き続きご声援お願い致します。また、去年は中止となった千葉ロッテマリーンズ成田後援旗杯少年野球大会が成田コスモポリタンロータリークラブのご後援で 5 月に開催されます。2 軍の試合はコロナの関係で、去年に引き続き残念ながらありません。今後共、千葉ロッテマリーンズ並びにプロ野球を是非よろしく願いいたします。》



・高木 正尊 会員

《3月17日に、地域に向けた社会奉仕事業の一環で、藤崎年度第2弾として、会長・神谷会員・吉岡会員・沢田会員・私で2施設を直接訪問し、保育施設にコロナ感染防止対策保健衛生用品を支援物資として寄贈致しました。残りの園につきましては18・19日に全て分配を致しまして、活動を終わりました。私も22施設の1園の園長を務めておりまして、成田市民間保育協議会の会長にかわりまして、成田コスモポリタンロータリークラブ様にこの度の活動に感謝を申し上げ、ニコニコ致します。有難うございました。》



・石川 邦紘 会員

《今月、金婚式を迎えることが出来ましたのでニコニコ致します。》

#### ◇ 2月・3月結婚記念日紹介

2月	大竹清治 会員	《2月 4日》	菊地裕文 会員	《2月 8日》
	田中英之 会員	《2月11日》	齋藤和彦 会員	《2月14日》
	高木信人 会員	《2月18日》	遠藤忠義 会員	《2月25日》
3月	平野伸一 会員	《3月 3日》	米山信一 会員	《3月 5日》
	沢田克洋 会員	《3月 6日》	出山嘉彦 会員	《3月 6日》
	長谷川吉昭 会員	《3月 7日》	石川邦紘 会員	《3月 9日》
	黒木久 会員	《3月14日》	横山英樹 会員	《3月21日》
	林康博 会員	《3月26日》		

#### ◇ 2月・3月誕生日紹介

2月	加瀬邦雄 会員	《2月 7日》	池田和彦 会員	《2月11日》
	石原紀一 会員	《2月11日》	村島義則 会員	《2月12日》
	高木正尊 会員	《2月13日》	長谷川浩史 会員	《2月14日》
	滝澤政樹 会員	《2月20日》	田中英之 会員	《2月25日》
	片岡孝治 会員	《2月27日》		
3月	瀧田隆 会員	《3月 5日》	出山嘉彦 会員	《3月 6日》
	成尾正行 会員	《3月 7日》	小泉榮助 会員	《3月16日》
	鈴木哲雄 会員	《3月31日》		



#### ◇ 会長 挨拶 藤崎 政弘 会長

「3月：水と衛生月間」



会員の皆さん、こんにちは。大変久しぶりです。無事で何よりです。会えて大変うれしく思っております。今日は初めての会長挨拶の様で緊張してはおりますが、皆さんとまたこうして例会を開催できることに、本当に心から有難く、楽しみにしておりました。緊急事態宣言下での生活は大変不便なもので、ごちなく、すっきりしない不安な毎日でしたが、例会開催を通じて、ロータリー魂を取り戻して、仕事にも繋げていきたいと考えます。しかし、コロナ禍でもあり、第4波や変異株の感染拡大にも十分に注意していかなければなりません。気を緩めず、気を付けて活動していきましょう。本日は、成田ロータリークラブから矢野様、菊池様お越しいただきました、ごゆっくりお過ごしください。

さて、緊急事態宣言下で例会は中止ではありましたが、皆さんにご報告しておきたいことがございます。

まず、3月17日(水)に成田市民間保育協議会加盟の22保育施設に、保育用品としてゴム手袋とペーパータオルを寄贈させていただきました。エッセンシャルワーカーとして、子供たちの保育や家庭支援の為に精励されている方々には大変喜ばれる事業でありました。高木奉仕プロジェクト統括委員長の下、成田市民間保育協議会の石田雪絵会長（つのぶえ保育園）、千葉県保育協議会印旛支部、久保美和子会長（公津の杜保育園）にお邪魔して届けてきました。同行いただいた神谷会員、沢田克洋会員、吉岡会員、高野事務局員有難うございました。総額46万円程の浄財を皆さんの会費の中から捻出しました。また、結構な量でもあり、この支援物資を取り揃えるにあたっては、医療法人鳳生会成田病院、藤崎康人医院長のお力添えを頂いたことには、大変敬意を表したいと思っております。有難うございました。

また、4月7日(水)には、カンボジアへの産後の母子ケア支援事業として、カンボジアのコンポンチャム州ストゥントロン保健センターとこの例会場を結び、リモートで寄贈式典を執り行う予定をしております。これは、ロータリー財団の地区補助金を活用しての国際奉仕事業となります。式典では、保健行政区内4つの保健センター（合計34村）へランタンの贈呈、保健センター長へ子育てキットの贈呈や小児ケアの技術トレーニングセミナーの映像等、現地に訪問しているような感じになるかと想像しております。皆さんの参加をお願いいたします。

さて、3月は水と衛生月間です。世界には安全な水を利用できない地域社会が多数あります。ロータリー財団への寄付がその支援への一助となります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、「Hope Lights Our Way/希望の道を、つなごう。」というコンセプトの下、明日3月25日に東京2020オリンピック聖火リレーが、福島県の復興のシンボルである「ナショナルトレーニングセ

ンターJ ヴィレッジ」からスタートします。支えあい、認めあい、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人に希望の道を照らします。ぜひ成功裡に開催される事を願っております。

長くなり、まとまりませんが、本日も皆様と有意義な時間を過ごせることを願い、会長挨拶といたします。有難うございました。

## ◇ 委員会報告

### ◎ ロータリー情報・雑誌・クラブ研修委員会 奥村 國雄 副委員長

本日、3ヶ月分のロータリーの友が配られました。1月号の縦書き P23に昨年の9月16日に当クラブで成田市の体育館に大型の扇風機4台、コードリールを寄付した内容が掲載されています。また、次のページには成田ロータリークラブさんが発電機を寄付された内容が掲載されています。今月号の縦書きのP9に、千葉県富津市の花火師立石さんが行った、去年コロナ禍での突然の打ち上げについての経緯が4ページにわたって掲載されていますのでぜひ読んでみて下さい。



### ◎ 第2790地区諮問委員会 青木 貞雄 パストガバナー

久しぶりの例会ですので、当地区、及びRI(国際ロータリー)の最近の動向について報告します。

#### A. 当地区 (RID2790) グループ再編成の実施延期

1. クラブには2月半ばに案内が届いていると思いますが、漆原ガバナーは、決定者である2019-20年度諸岡ガバナーの了解を得た上で、2021年7月1日施行予定の当地区グループ再編成の実施延期を決めると共に、地区戦略計画委員会、及び次年度以降のガバナー予定者とも協議の上、地区グループ再編成を以下の予定で行うこととしました。



2021-22年度：実施時期2年延期に伴い、「未来ビジョン策定委員会」の下に地区グループ再編会議（議長鶴沢 GND）を設置し、クラブの意向を聴取した上で、地区方針に基づくグループ再編成案を再策定する。

2022-23年度：2021-22年度に策定したグループ再編成案のクラブへの周知徹底を図る。

2023年7月1日：新グループ構成実施

尚、2022-23年度以降のガバナー補佐任命にあたっては、クラブの推薦を受付けると共に、グループ内輪番制を否定しないこととする。

#### 2. 背景・理由

a) 2019-20年度諸岡ガバナー年度に決定された新グループ構成の2021年7月1日導入に向け、漆原ガバナーは、ガバナー補佐に担当クラブへの説明・理解取得を依頼すると共に、公式訪問を通じてクラブの理解取得に努めた結果、所属するグループの分割に当初は反対であったが、問題があれば後日見直すことを条件に、導入に同意するクラブも出てきました。しかし、今回のグループ再編成に強く反対するクラブによる他クラブへの反対活動支援要請、更には、梶原 GE が推進しようとした DLP に基づくガバナーによるガバナー補佐指名への反発を理由としたグループ再編成反対の声が大きくなりました。

b) 今回のグループ再編成に当初反対した13クラブ（その内5クラブは、後日、反対表明を撤回）の理由は、グループ再編成が不公平、現行グループ分割に反対、ガバナー補佐任命手続き反対でしたが、漆原ガバナーが昨年末に実施したグループ再編に対するクラブのコメントは、

- 1) グループ再編成の通知が唐突であった。
  - 2) グループ再編成がクラブの意向を聞くことなく進められた。
  - 3) 梶原年度ガバナー補佐選出手続きに対する不満に基づきグループ再編成反対等が主で、4割強の38クラブより反対論が出ました。
- c) 斯かる現状、及び2021-22梶原年度に向けた3大セミナー等の地区行事開始時期を迎えたこと等から、漆原ガバナーは今回の地区グループ再編成の実施を延期すると共に、1年間かけてクラブの意向を聴取することとしました。
- d) 尚、地区は、2017-18寺嶋年度以降の地区方針の1つとして「グループ別クラブ数、及び会員数の平準化」を通じたグループ再編成、及び会員数減少を反映したグループ数削減を目指しているため、今回のグループ再編成案の一部修正案が検討されると思いますが、今回のグループ再編成に強く反対しているクラブの反対理由である現行グループの分割は避けて通れません。従って、この点につき、クラブの理解を得ることがグループ再編成の最大の課題です。

## B. SRF=Shaping Rotary's Future=ロータリーの未来形成

RIの動きとしては、昨年末に辰野RI理事より突然発表があった「RIのクラブ統治機構を変更するSRF」が、現在、関係者間で大きな論争を引き起こしています。

### 1. 背景

RIは、インド、韓国、台湾等で会員が拡大しているが、全体としての会員数は伸び悩みから減少に転じている現状、及びその大きな原因が、ロータリーの発祥地であると共に、会員数が世界最大の米国にあることから、1915年に導入されたRIの統治機構を現在の「地区・ガバナー制度」に代わり、地域性を考慮すると共に、RI理事会—Regional Council—Leaderの三重構造とする新たな仕組み「SRF=Shaping Rotary's Future=ロータリー未来形成」とする案を検討しています。

### 2. ロータリーの管理・統治体制

a) 現在、クラブ運営は、その集合体であるRIの管理・統治を受けていますが、1915年に導入された「地区・ガバナー制度」に基づき、RIは、クラブを日本で34地区、世界で530弱の地区に分け、RIの役員であるガバナーを各地区に配置して地区内クラブの指導・管理を任せる間接統治方式をとっています（別紙参照）。

b) 現在検討されているSRFの具体的な手続き等は、未だ不明の点が多々ありますが、RIは、現在の中央集権を改め、地域性を考慮した以下の組織体系により管理する（別紙参照）。

- 1) RI、及びTRF（R財団）は最高機関として継続する。
- 2) 世界を言語、文化等により25~30の地域（現在の案は28で、日本は1地域となる予定）に分け、RI理事会の管理下に選挙で選ばれた任期3年のRegional Council、及びその支援組織「Regional Council Committee」を設置する
- 3) クラブをRegional Councilの管理下に置くと共に、20から25クラブを統括する選挙で選ばれた任期2年のLeaderをRegional Councilの指導・管理下に配置して担当クラブの指導・管理に当たらせる。
- 4) 尚、会員数を増やすため、新管理・統治機構では、ローターアクターがロータリアンと同等扱いでRegional Council、Leaderへの就任可能。

### 3. 今後の予定

a) RIは、SRFの原案を取り纏めた上で、2030年導入に向けて、世界のいくつかの地域で試験的に導入する提案を2022年規定審議会に上程予定。

b) SRF 導入に伴う各組織の責務と権限、また、運営手続きの詳細等は現在不明ですが、私は、今回の SRF 提案につき以下の点で疑問を持っています。言い換えれば、SRF 導入には、これらの点の改善・明確化が必要と考えます。

1) 統治機構が現在より複雑化するので、RI は方針決定機関として組織のスリム化を図り (RI 会長の任期は 1 年、RI 理事の任期は 2 年だが、RI 本部には、5 年以上に亘り君臨する事務総長の下に多数の職員がおり、RI の運営を仕切っている現状が RI 中央集権の一因との説がある)、管理・統治権限を Regional Council に移管させない限り、地域性尊重にはならず、単に組織が複雑化するだけ。

2) ガバナー等に就任すると自分の本業がほとんど手につかない現状では、任期が複数年の Regional Council、Leader 等に就任できる人は限定される。

3) ロータリアンに年齢制限がない中、運営手続き、人頭分担金等が異なるローターアクターをロータリアンと同等に扱うのはおかしい。

c) 尚、日本の PDG 等の中には、ガバナーがなくなることに反対という守旧派が多数いるので、今後の動向が注目されます。

#### ◎ 米山記念奨学会委員会 山本 豊一 委員長

奨学生のアリム・イケラム君は、毎月 1 回出席し、奨学金をお渡しする事になっておりますが、今月は本日および来週の 31 日が、学校の関係で出席する事が出来ないという事で、3 月 7 日にお会いし、私より奨学金を渡しましたのでご報告致します。また、3 月 13 日に 2020 学年度の米山記念奨学生終了式がありました。アリムさんについては引き続きもう一年、成田コスモポリタンロータリークラブでお世話する事になりますので、よろしくお願いいたします。



#### ◎ ロータリー財団委員会

ポリオプラスに沢田克洋会員が寄付され、ポール・ハリス・フェロー+4 ピンバッチが会長より贈呈されました。



#### ◇ 幹事報告 岩澤 弘 幹事

■回 覧：成田 RC・八街 RC・印西 RC・多古 RC 週報

■例会案内・変更：成田 RC・富里 RC・印西 RC・白井 RC・八街 RC・多古 RC  
例会変更のお知らせ

■その他：ガバナー月信 2, 3 月号、ロータリーの友 1, 2, 3 月号、ニューモラル 2, 3 月号を配布しました。



#### ☆ 本日の料理





本日は、新型コロナウイルスについての卓話をいたします。今年の1月から3月にかけて、私の勤務している成田病院とその併設施設の介護老人保健施設の百寿園にて新型コロナウイルスの集団感染（クラスター）を経験しましたので、そのことについての実体験を交えて新型コロナウイルスのお話をさせていただきます。

2019年12月中国の武漢から発生し、あっという間にパンデミックとなった新型コロナウイルスは、日本にもその後伝搬し、3月～5月の第一波、8月～10月の第二波、12月からの第3波の流行となっています。コロナウイルスという名前は、電子顕微鏡で観察された写真で、ウイルス表面に王冠のような突起物が観察されることからその名前がついたようです。世界には何十種類ものコロナウイルスが存在していますが、人に感染するコロナウイルスとしては、今まで6種類がわかっていました。それらの内、4種類のコロナウイルスは普通の風邪程度の上気道感染症をおこしますが、数日で軽快してしまいます。世の中では、常に人から人に感染が生じていますが、重篤になることはなく、数日で軽快してしまうため、問題になることはありません。残りの2つは、SARSとMER Sで、ともに1990年代に発見され、致死率も新型コロナウイルスより高く恐ろしいウイルスですが、SARSは流行地域での一定期間の感染対策により自然消滅、MER Sは中東の一部に限られた地域で小さな流行が時々発生しているにすぎません。7番目のコロナウイルスが、今回、2019年12月に中国の武漢から世界に感染拡大が始まったといわれている新型コロナウイルスです。ウイルス名はWHO長官により、SARS-CoV-2と名付けられました。このウイルスの厄介な点は、ウイルス感染後、いわゆる風邪症状が出現する前、何の症状もない状態で、ウイルスを周りに拡散してしまう事です。普通に元気に生活したり、働いている人が、感染源となり、ウイルスを拡散し、周りの人に感染させてしまう能力を持っているのです。感染拡大が生じ、パンデミックとなって以来、テレビ、ネット等では、この新型コロナウイルスの事が話題とならない日がありません。

日本では、2020年3月～5月に1回目の感染拡大がおり、4/7に1回目の非常事態宣言が発せられ、飲食店を中心に店舗が休業し、デパートも休業、通勤電車はガラガラ、街は閑散となりゴーストタウン状態となり経済活動はかなりの停滞となりました。そのおかげで、生活は不自由になりましたが、宣言後、1か月ほどで感染は収まり、非常事態宣言は、5/14に解除されました。しかし、その後、8月～10月に第2波の感染拡大が発生しましたが、いろいろな対策が行われ、感染は収まっていきました。具体的には、飲食店の営業時間の短縮や不要不急の外出の自粛を呼びかけたことなどが影響し、東京では1人の感染者が何人に感染させるかを表す「実効再生産数」は1を下回り、PCR検査の陽性率も下がりました。皆さんが行動を変えた努力によるものだと思います。また、検査体制が「1波」のころより整い、陽性者と接触した人の検査をし、陽性であれば隔離するという追跡調査の流れがしっかりできたことも感染者が減った大きな理由でしょう。しかし、社会全体でコロナ自粛に慣れと疲れが出始め、季節的な要因も影響したためか、11月下旬から患者さんが再び増加に転じ、今回の第3波になっている状況です。第3波では、国が想定していた数より患者数の増加が多くなり、首都圏と大阪を中心に全国いたるところで、コロナ病床のひっ迫で、コロナ患者が入院できない状態となりました。症状があるにもかかわらず入院できず、自宅やホテルで健康観察中の感染者が命を落とす事例もいくつか生じてしまいました。そして、1/7に2回目の緊急事態宣言発出となり、再び飲食店の時短要請、高齢者施設のクラスター対策等が行われ、ようやく3/21に緊急事態宣言解除に至りました。第3波では、第1波、第2波と異なり、go to トラベル等の影響もあり、感染が地方に広がり、全国規模となり、また、カラオケ、高齢者施設、障害者施設、病院等で、多数のクラスター発生が報告され、保健所もコロナ感染者の対応ができない状況となりました。

世界的には、当初 2020 年 1 月には中国の武漢を中心とした感染爆発があり、その後すぐ、イタリアからヨーロッパに広がり、3/11 に WHO がパンデミックを宣言しました。その後、4 月ごろから北米、南米で感染者数が増加し、世界の感染者数の大多数を占めるようになりました。世界各地でロックダウンが施行され、日本より厳しい経済活動の減少を余儀なくされています。一方、中国は、初期の感染爆発後、共産党政権が非常に厳しい感染対策を行ったことにより、市中感染を完全にコントロールし、経済活動もほぼ元に戻り、昨年の GDP は世界で数少ないプラス成長となっています。

時間が無くなってきたので、世の中の新型コロナウイルスについての話はまたの機会にして、成田病院で経験した COVID-19 のクラスター事例について話を変えます。

当院に併設している老人保健施設の百寿園と成田病院の病棟で今年の 1 月～3 月にかけて新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)のクラスターが発生してしまいました。なお、クラスターとは、厚労省の考え方では、ある感染源から、5 人以上の感染者が短期間のうちに発生した事例をいいます。有効な感染対策をしないと、さらなる感染者の増加の可能性があります、保健所が積極的に対応策について介入してくれます。

まず、百寿園の事例について話します。百寿園は、介護保険制度上の介護老人保健施設とあって、病気ではなく、いわゆる老化に伴い、介護が必要となった高齢者の方々のお世話をする施設です。今回のクラスター事例の始まりは、1 月 23 日、当施設の看護師が発熱、咳、咽頭痛で成田病院の外来診察でコロナ抗原陽性で COVID-19 と診断されたことでした。後日、そのスタッフは、おなじシェアハウスにいた女性から感染していたことがわかりました。看護職員の感染はいわゆる家庭内感染と考えられました。今まで当施設および成田病院では職員のコロナ感染単発例は数件発生していましたが、施設内クラスターの経験はなく、コロナ感染者が発生した当日、具体的な対応策がわからず、器材も十分でなく、不足の器材調達のため、あわてて、近くのデイトーやらケーズデンキに調達に走ったりしました。介護老人保健施設は病院に比べ職員数も多くなく、厳密に有効な感染対策をするのは困難でした。幸い、百寿園は隣に成田病院があり、日頃から感染対策チームが活動しており、コロナ対策の知識のあるスタッフが複数いたため、午後から急遽、成田病院の感染対策チームのスタッフを 10 名ほど百寿園に投入し、それらの人材が応援スタッフとして動いてくれたお陰で対応は迅速にできました。さらに、ゾーニング（コロナ陽性者、濃厚接触者、それ以外の感染の可能性の低い入所者を分離して管理する事）施行。感染防御衣の確保、着衣スペース・脱衣スペースの設置、使い捨て用品の拡充、空気清浄機の購入等、にわか仕立てでしたが、感染対策が出来ました。また、施設入所者全員と職員全員、計約 110 人の PCR 検査を同日に行いました。その結果、同施設の別の看護師 1 名も PCR 陽性と翌日 (1/24) 判明しました。当然感染している看護師は出勤停止、自宅またはホテルでの健康観察となりました。一般的に、SARS-CoV-19 ウィルスは容易に感染拡大が生じ、クラスターに発展しやすい事がわかっているため、その後も PCR 検査を上記同様、入所者と職員に対し、1/25、1/30、2/2、2/5 施行しました。その結果、1/25 の PCR 検査で施設入所者 2 名の陽性、1/26 職員が発熱と風邪症状発症のため、迅速に SARS-CoV-19 ウィルス抗原検査を施行し陽性、1/30 の PCR 検査で、施設入所者 7 名、職員 1 名が陽性、2/2 の PCR 検査で職員 1 名陽性、2/5 の PCR 検査で施設入所者 1 名の陽性、が判明しました。2/5 というのは、最初に百寿園で感染者が診断された日から 13 日目です。1/23 以降、複数回入所者と職員に PCR 検査をしているのにも関わらず、2/5 までは、ずっと PCR が陽性とはならず、2/5 に陽性となったケースです。この様に、初発感染者が判明し、その当日から感染対策を行っても、その時点で、すでに同じ施設内の人たちに感染が広がっていて、その後、何日か経って、発症または、PCR 陽性が明らかになってくるわけです。今回のクラスター事例で最後に感染が判明した患者さんは、実に感染対策を開始して、13 日目にようやく PCR が陽性になり、感染と診断されたわけで



す。一応、今までの知見では、潜伏期（感染してから発症したり、PCR が陽性になるまでの日数）は 2-14 日となっていますが、今回のケースは 14 日の 1 日前でした。

この様に、発症や PCR 陽性になるまでの期間がまちまちのため、感染者を早期に発見するには、3 日に 1 回程度の頻度での PCR 検査が必要です。そうしないと PCR 陽性になるような病状になってもそれを把握できない状態が放置されてしまう事になります。なにかしら症状があれば診断しやすいのですが、無症状でコロナウィルスを排出している状態が何日間か生じてしまうので、その期間をできるだけ短くする手段としては頻回の抗原検査か PCR 検査しかありません。ただし、抗原検査は感度が PCR 検査より低いいため、抗原検査で陰性、PCR で陽性となるケースも少なくないので、PCR を定期的に行う事が望ましいと考えられます。

現在、日本でもワクチンが開発されていますが、日本は開発や安全性の試験にかかっている、日本製ワクチンの実用化は、まだ、1 年くらいかかりそうです。現在、2 月から一部の医療機関の職員を対象としたワクチンの先行接種が始まっていますが、日本で認可承認されている SARS-CoV-2 に対するワクチンは、ファイザー社製のコミナティというワクチンだけです。今までのワクチンとは仕組みが異なり、RNA ワクチンといい、新しい技術を用いたものです。開発に要した期間は約 1 年ですが、その短い期間の中で開発が成功した訳です。ワクチン開発では、コミナティは、ベルギーのファイザー社の工場で作られており、EU の承認がないと輸出できないそうです。今のところ、予定された数より少ない輸入数となっており、当初政府が見積もった接種計画に遅れが出ています。いつ、何本くらい輸入されるのか、直前にならないと実際の数確定しない状況がしばらく続きそうです。今のところ成田市に関しては、医療従事者用として、3 月上旬に成田赤十字病院、中旬に国際医療福祉大学成田病院の職員を対象に接種が始まっています。しかし、その他の医療機関分は、まだ見通しが立っていません。おそらく 4 月に入ってからになりそうです。これとは別に、65 歳以上の高齢者用ワクチンは配布の仕組みが異なり、4 月 19 日と 26 日に各 1 箱（195 バイアル）計 2 箱が配布される予定になっています。この 2 箱合計で 975 人分です（1 人 2 回接種なので 1950 接種分）。この 975 人分は、今のところ、市内の高齢者施設の内、特別養護老人ホームと介護老人保健施設の入所者（約 1000 人）が対象となっています。このほかの高齢者施設、個別接種、集団接種は、それ以降になり、5 月からの接種となりそうです。その後、高齢者施設の職員、最後に一般市民の順番になります。ですので、一般市民のワクチン接種がひと段落するのは、年内ギリギリになるかもしれません。話しが、尻切れトンボですが、本日は、これで新型コロナウイルスの話しを終わります。

◇ 点 鐘 藤崎 政弘 会長

## 2020-21年度 2月定例理事会議事録

日 時：令和 3 年 2 月 10 日(水) 13:30~14:40

場 所：ZOOM

出席者：藤崎(政)、藤崎(康)、岩澤、萩原、田中、遠藤、高木(正)、神谷、村島、大竹、奥村、加瀬、沢田(克)、【オブ：飯島栄】

欠席者：石井

(敬称略/順不同)

1. 議 題：

① 米山記念奨学会・新規奨学生の世話クラブとカウンセラーの引き受け（要請）

→ 奨学生は現在 1 名引き受けているので辞退。カウンセラーは引き続き山本会員が引き受ける。

- ② I Mの開催と参加（佐藤優氏の講演のみ／懇親会なし）＝当初は 2/15 までに参加登録  
 ※ 3/3（水＝例会日＝振替）14:00～、ビューホテル【ZOOM 併用】、全員登録＝4 千円/人  
 → 18 日の会長幹事会でガバナー補佐や他クラブと意見交換する。当クラブとしては 3 月にこだわらずに開催したほうがよい。
- ③ 『クラブ・個人表彰』、『感謝状』等候補の推薦（2 月末）  
 → 国際奉仕活動（PHJ）と社会奉仕（保育園への衛生物資の寄付）を推薦する。個人も引き続き募集する。
- ④ 「TRFの寄付」及び「米山奨学会特別協力会」の継続  
 → 山本会員と平野会員に岩澤幹事が確認する。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症支援活動  
 → 寄贈先は成田市民間保育園協議会 22 園。予算は上限 50 万円。寄贈物資はコロナ関係の衛生消耗品。高木統括委員長が推進する。

## 2. 協議事項

- ① オンラインによる例会出席について(定款第 7 条第 1 節による)  
 → ZOOM を併用して開催していく

## 3. 報告事項

- ① 緊急事態宣言延長に伴う例会等の取り扱い（期間短縮を想定）  
 → 2 月最終例会は緊急事態宣言の短縮を想定して通常例回の予定  
 （ランタンを PHJ に 109 ヶ贈呈 1,200 円）予算や事業計画は??
- ② 2021 台北国際大会(6/12-16 予定)のバーチャル開催への変更と千葉ナイトの中止  
 → 登録していても全額返金
- ③ グループ再編成の施行延期（2022 年度～）【速報】
- ④ 新行内会員の退会（2/26 退社）と後任者選定（玉正）
- ⑤ 延期された RLI パート I（3/13 予定）には大竹会員が参加予定
- ⑥ 補助金管理の説明会（従来の補助金管理セミナー）への参加（1/30）
- ⑦ TRF グローバル補助金の活用に係るクラブの参加資格認定【覚書（MOU）締結】
- ⑧ RI 人頭分担金(\$ 2,466.75=256,542 円)と地区関係負担金(903,367 円)の送金  
 → 会費の入金状況について沢田会計から説明あり
- ⑨ 日本のロータリー100 周年記念誌への寄稿 → グラが出来次第報告
- ⑩ 地区 RC 学友チャリティーコンサート開催案内 → 通常例回で周知
- ⑪ スリランカクラブの案内 → 通常例回で周知
- ⑫ 第 10 グループ 20-21 年度第 4 回会長・幹事会（2/18 ZOOM により開催）
- ⑬ 2021 年 2 月のロータリーレート=104 円

## 2020-21 年度 3 月定例理事会議事録

日 時：令和 3 年 3 月 10 日(水) 13:00～13:50

場 所：ZOOM

出席者：藤崎(政)、奥村、藤崎(康)、岩澤、萩原、沢田(克)、遠藤、高木(正)、大竹、加瀬、村島、

神谷、石井【オブ：菊地、飯島（栄）】

欠席者：田中

(敬称略／順不同)

### 1. 議 題：

- ① 2021年決議審議会決議案の提出（4/30 締切）→ 意見なし
- ② 「TRFの寄付」及び「米山奨学会特別協力会」の継続→ 両委員会に名簿作成依頼
- ③ 地区大会記念ゴルフ大会の参加と登録料支弁（5/17、10G は印西 RC 以外各 2 名）  
→ ゴルフ部に参加者選定依頼
- ④ 地区大会 R I 会長代理歓迎晩さん会への参加と登録料支給  
→ 藤崎会長（地区幹事）参加で了承（詳細未定）
- ⑤ 2 クラブ合同花見例会の開催（4/14 ホテル日航／ゴルフは久能 CC）  
→ 藤崎会長が成田 RC 堀口会長と協議

### 2. 協議事項

- ① オンラインによる例会出席について（定款第 7 条第 1 節による）→ 継続協議

### 3. 報告事項

- ① IMの開催延期（3/3→5/26、ビューホテル、全員登録＝4 千円/人）
- ② RLI パート I 再延期（3/13→最速 4/3、大竹会員）
- ③ 「ロータリー談義の集い」開催再延期（4/17→ ）
- ④ 20 学年米山記念奨学生・終了式及び歓送会（3/13、山本会員/7 千円）
- ⑤ 20-21 地区大会（5/9 のみ、2 名迄登録可）
- ⑥ コロナ禍における地区補助金事業の指針（4 月末報告書提出）
- ⑦ TRF グローバル補助金の補助率変更（→80%）
- ⑧ グループ再編成の施行延期（2023 年度～）
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症支援活動  
→ ゴム手袋等 418,275 円分を成田市民間保育園協議会員 22 園に寄贈。  
贈呈は 17 日 15 時に実施。参加者は少人数に限定して後日決定。
- ⑩ 第 10 グループ 20-21 年度第 4 回会長・幹事会（2/18 ZOOM により開催）  
→ 次回は 4 月（富里 RC 担当）
- ⑪ 2021 年 3 月のロータリーレート＝106 円

### ◇ 出席報告 \*メーキャップは前後 2 週間です。

	日 付	会員数	免 除	出 席	欠 席	M U	出 席 率	補 正 出 席 率
前々回修正	12 月 23 日	71 名	5 名	34 名	30 名	3 名		5 5 . 2 2 %
本日例会	3 月 24 日	71 名	5 名	36 名	34 名	0 名	5 1 . 4 3 %	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香 500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022